

バイオ・ライフサイエンス



キーワード：妊産婦・母親・情報ニーズ・意思決定支援

Webサイトへの投稿内容を分析して女性の情報ニーズを探る

看護学部 看護学科 教授
井田 歩美 IDA Ayumi

研究の内容

妊娠を望んでから育児期に至るまで女性が意思決定を必要とする場面は多くなっています。よりよい意思決定には適切な情報を入手することが必要です。看護職者の支援のひとつとして情報提供は大変重要となっており、適切な情報提供のためには、対象者の情報ニーズの把握が必須となります。現在までの研究において、ソーシャルメディアのひとつであるわが国最大級の女性限定口コミサイト（ウィメンズパーク）への投稿内容（株式会社ベネッセコーポレーションからデータ提供を受け実施、2022年1月末サービス終了）を分析し、不変的かつ普遍的な情報ニーズと社会情勢を反映したトピック（話題）に関連した情報ニーズの体系化を図ってきました。

最近のトピックとしては、2020年の新型コロナウイルス感染症流行下において、妊婦はどのような不安や困惑を抱えて過ごしていたのかを明らかにしました。

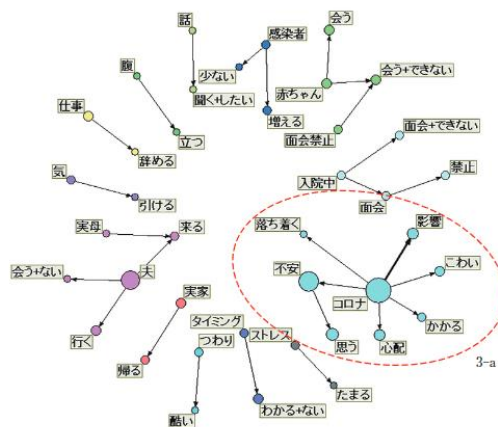


図 COVID-19流行下の妊婦の不安、困惑のネットワーク図

表 COVID-19流行下の妊婦の不安、困惑

カテゴリー	サブカテゴリー
従来の医療サービスが享受できない	従来の医療を享受できない (8) 出産場所の選択に関連した悩み (2) 出産準備教室が中止になった (2) 付き添い・立ち合い出産・面会制限による苦悩 (6)
自顧生活を送るうえでの困惑	里帰りに関連した困惑 (8) 日常生活を送るうえでの困惑 (3) 休園・休校・在宅勤務に関連した困惑 (3) 不要不急の外出・移動の判断ができない (6) 赤ちゃんとの面会のタイミングがわからない (3)
COVID-19 感染した不安	感染かもしれない・させるかもしれない不安 (7) 感染対策に関する価値観の違いによる軋轢 (4)
就業や収入減少に関連した悩み	就業に関連した悩み (5) 世帯収入の減少に関連した困惑 (2)
情報過多・不足に関連した不安	

産学連携・社会連携へのアピールポイント

Web上で行われている情報収集、意見交換を通して、妊活中のカップルや妊産婦さん、子育て中のママが求める情報の詳細や思いなどを知りたい方、どのような情報ニーズがあるのか分析してみたい方、お気軽にお問い合わせください。

研究者総覧（井田 歩美）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000415_ja.html

